

## 北陸新幹線、越前たけふ駅が姿を現します！ ～コウノトリが飛翔する未来への道標となる駅の誕生へ～

越前たけふ駅新築工事は、昨年より屋根、外壁工事等を進めてまいりましたが、このたび外部足場の解体に伴い、駅の外観が姿を現します。

8月20日（金）までの完了に向けて、駅名標の設置および一部を除く駅舎中央部の外部足場解体を進めてまいります。

越前たけふ駅は「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」をデザインコンセプトとして、コウノトリが飛翔する未来への道標となる駅を目指して建築を進めております。

今後、内装工事、設備工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



駅舎外観パース

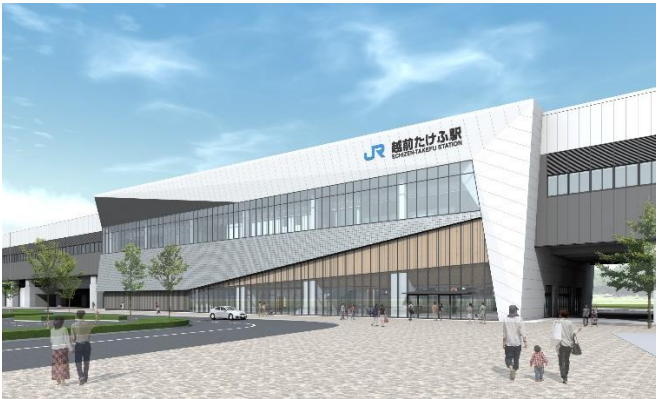
<本件に関するお問合せ先>

北陸新幹線建設局 渉外部

TEL 0776-25-1280 FAX 0776-25-1281

## デザインコンセプト

# 「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」



### デザインイメージ

コウノトリが飛翔する

未来への道標となる駅

越前市に飛来するコウノトリをモチーフとし、越前市の美しい自然環境を未来へつないでいくシンボルとなる駅をイメージ

コンコース



中央部の天井には越前和紙の技法である「流し漉き」の動きをダイナミックに表現した和紙照明を設置し、全体を落ち着いた色調でデザインしています

ホーム



ホーム空間は外観デザインと合わせたモノトーン調とし、待合室は地域の伝統・文化が感じられるような格子戸、白壁をあしらったデザインとしています

### 北陸新幹線、南越(仮称)駅新築 工事概要

1. 工事件名 北陸新幹線、南越(仮称)新築
2. 工事場所 福井県越前市大屋町地内
3. 工事内容 南越(仮称)駅

駅本屋<sup>※1</sup> 鉄骨造平家建 約2,650m<sup>2</sup> ※1:コンコース、駅務室、待合室など、旅客・駅務施設を指す

旅客上家<sup>※2</sup> 鉄骨造平家建 約9,830m<sup>2</sup> ※2:ホーム上に掛かっている屋根・外壁を指す

信通機器室<sup>※3</sup> 鉄骨造平家建 約2,000m<sup>2</sup> ※3:電気系統の機器などを設置する施設を指す

4. 施工者 飛島・本間・関 北陸新幹線、南越(仮称)駅新築特定建設工事共同企業体
5. 駅諸元 ホーム形式:相対式2面4線

ホーム延長:312m、駅舎の高さ:約21m、駅舎の幅:約35m